

卒業演習(日本史5)－Ⅱ

科目ナンバリング SEM-410
選択必修 2単位

矢越 葉子

1. 授業の概要(ねらい)

日本古代史の様々なテーマに関する解説を用意するので、その中から各自一つを選択し、挙げられている史料を載せながら内容を発表する。どのような史料を根拠に、どのような説を述べているかを読解し、その要約と自身の考えを発表する。史料も辞書で調べ、書き下し文や現代語訳を述べられるようにする。

発表者以外も、あらかじめ各回の発表で用いる解説を読んでおき、授業内で発表者に対して質問や意見を出す。

2. 授業の到達目標

- ①日本古代史のテーマや研究動向を習得する。
- ②解説や論文を読解できる。
- ③史料や専門用語を、辞書や文献で調べられる。
- ④研究上の様々な論点について、自身の考えを述べられる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)各回の授業での発表内容と討論への参加 50%(到達目標①～③)
- (2)学期末に提出するレポート(報告内容を発展させ、論文形式にして4,000字以上で執筆する) 50%(到達目標①～④)

4. 教科書・参考文献

参考文献

村岡薫ほか 『再検証 史料が語る新事実 書き換えられる日本史』 三一書房
歴史科学協議会編 『歴史の「常識」をよむ』 東京大学出版会

5. 準備学修の内容

- ・受講者は、各回の報告で扱う解説を事前に読み、理解する。
- ・発表者は解説の要旨をまとめ、史料をレジュメに貼り読解する。語句は『大漢和辞典』『日本国語大辞典』『国史大辞典』等を引いて調べる。
- ・発表内容に関する他の書籍や論文も読み、レポートを作成する。

6. その他履修上の注意事項

この演習への参加を通して、卒業論文のテーマを探し出し、卒業論文執筆に必要な史料や論文の読解力を身に付けて欲しい。また、日頃から関心のあるテーマを探すとともに、各発表の討論にも積極的に参加して欲しい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | オリエンテーション
・演習の進め方の説明
・発表の仕方の解説 |
| 【第2回】 | 発表に向けての練習
・一つの解説文を読み、要旨を作る。
・引用されている史料を輪読する。
発表者の決定 |
| 【第3回】 | 発表と討論①
・発表者による解説文の要旨・説明の発表、参加者による討議 |
| 【第4回】 | 発表と討論②
・発表者による解説文の要旨・説明の発表、参加者による討議 |
| 【第5回】 | 発表と討論③
・発表者による解説文の要旨・説明の発表、参加者による討議 |
| 【第6回】 | 発表と討論④
・発表者による解説文の要旨・説明の発表、参加者による討議 |
| 【第7回】 | 発表と討論⑤
・発表者による解説文の要旨・説明の発表、参加者による討議 |
| 【第8回】 | 発表と討論⑥
・発表者による解説文の要旨・説明の発表、参加者による討議 |
| 【第9回】 | 内容を発展させた発表に向けて【オンライン授業】
・演習の進め方の説明
・発表の仕方の確認 |
| 【第10回】 | 内容を発展させた発表と討論①
・解説文に関連する諸説の発表、参加者による討議 |
| 【第11回】 | 内容を発展させた発表と討論②
・解説文に関連する諸説の発表、参加者による討議 |
| 【第12回】 | 内容を発展させた発表と討論③
・解説文に関連する諸説の発表、参加者による討議 |
| 【第13回】 | 内容を発展させた発表と討論④
・解説文に関連する諸説の発表、参加者による討議 |
| 【第14回】 | 内容を発展させた発表と討論⑤
・解説文に関連する諸説の発表、参加者による討議 |
| 【第15回】 | 内容を発展させた発表と討論⑥
・解説文に関連する諸説の発表、参加者による討議 |